

科 目 名	応用生活支援技術Ⅱ (障害者)【介護福祉コース】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	柴 田 和 子						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修 (介護)
授業の概要 及びねらい	障害の特性を理解し、利用者にとっての「不自由さ」とはどのようなことかを考え、生活を支援する知識と技術を習得する。						
授 業 の 到 達 目 標	1. 障害の状態・状況に応じた生活支援を理解する。 2. 安全・安楽な介護展開方法を説明、実践できる。 3. 他職種間との連携・協働方法を理解する。 4. 障害の原疾患を理解し、それに対応できる観察技術を理解する。 5. 利用者の「尊厳を守るケア」、「個人ケア」について説明できる。						
学 習 方 法	講義・演習、発表						
テキスト及 び参考書等	建帛社「生活支援技術Ⅰ」、その他配布資料						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	○	◎			50		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	○	○	10		
授業態度							
受講者の発表	○		◎	◎	20		
授業への参加度			◎		20		
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	障害を理解する視点						
第 2 週	肢体不自由者の理解と生活支援 (1)						
第 3 週	肢体不自由者の理解と生活支援 (2)						
第 4 週	肢体不自由者の理解と生活支援 (3)						
第 5 週	肢体不自由者の理解と生活支援 (4)						
第 6 週	視覚障害者の理解と生活支援 (1)						
第 7 週	視覚障害者の理解と生活支援 (2)						
第 8 週	聴覚・言語障害の理解と生活支援 (1)						
第 9 週	聴覚・言語障害の理解と生活支援 (2)						
第 10 週	精神障害の理解と生活支援 (1)						
第 11 週	精神障害の理解と生活支援 (2)						
第 12 週	知的障害の理解と生活支援 (1)						
第 13 週	知的障害の理解と生活支援 (2)						
第 14 週	福祉用具の活用方法						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考							